



第13回 早稲田 狂言の夕べ

2022年

4月21日(木)

17時30分開演

開場17時 終演予定19時

会場
早稲田大学大隈記念講堂

入場料
無料(全席指定 要申込)

対象
本学学生 教職員 招待校友

※未就学児入場不可

狂言
蝸牛

牛 太郎冠者 野村 万作

解説 野村 萬斎

休憩

山伏 野村 飯田

後見 石田 淡朗

当屋

石田 月崎 晴夫

後見 石田 淡朗

立衆

中村 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗

立衆

月崎 幸雄

後見 石田 淡朗

立衆

深田 博治

後見 石田 淡朗

立衆

内藤 連一

後見 石田 淡朗</

「早稲田狂言の夕べ」は、校友で人間国宝・文化功労者の野村万作氏、子息で推薦校友の野村萬斎氏をはじめとする豪華出演者による狂言公演です。2010年4月より本学学生・教職員・招待校友を対象として開催し、毎年大好評をいただいております。早稲田大学でしか観られない一味違った舞台を、大隈記念講堂(重要文化財)でお楽しみください。

あらすじとみどころ

狂言 蝶牛(かぎゅう)

修行を終えて帰る途中の山伏が竹やぶで休んでいると、主人の命で、長寿の薬になるという蝸牛(かたつむり)を捕りに太郎冠者がやってくる。太郎冠者が山伏を蝸牛だと思い込み声をかけると、山伏は蝸牛になりますまして太郎冠者をからかう。さらに山伏は、囃子言葉に浮かれてなら同行しようと、太郎冠者にかたつむりの囃子言葉を教え…。

観ていると心も体もうきうきとしてくる楽しい作品です。「でんでんむしむし」という囃子言葉が何回も出てきますので、登場人物と一緒に浮かれてみてはいかがでしょうか。

狂言 千切木(ちぎりき)

連歌の会の頭(当屋)になった男が、太郎冠者に会の仲間を呼びに行かせる。皆が集まって歌を考えていると、仲間はずれにされた太郎がやってくる。自分を呼ばなかったことに腹を立てた太郎は、当屋の家の掛け軸や花に難癖をつけこきおろす。怒った人々は、太郎を打ちのめし放り出してしまう。事件を聞きつけた太郎の妻は、しぶる太郎にむりやり棒を持たせ、仕返しに行くよう叱咤激励するのだが…。

題名の千切木は、時機に遅れて役に立たないという意味の「諍い果てての千切木」という諺からとられた言葉です。弱虫の割には強がる夫と、気は強いが夫思いの妻のやりとりの妙をお楽しみ下さい。



野村 万作
のむら まんさく

A black and white portrait of an elderly man with a serious expression, wearing a dark kimono. He has a high forehead and receding hairline. The text to his right identifies him as a狂言師 (kyogensho) and provides details about his life and career.

申 达 方 法

MyWaseda(お知らせ - 申請フォーム)より受付。

1次募集 【対象】学生・教

(関係職員含む)

3月3日(木) 9:00 ~ 3月7日(月)10:00
※当選結果通知(Wasedaメール)は4月7日(木)予定

2次募集

【対象】学生(新入生優先)

4月1日(金) 9:00 ~ 4月4日(月)10:00
※当選結果通知(Wasedaメール)は4月7日(木)予定

- ・申込方法の詳細はMyWasedaを参照してください。応募者多数の場合は抽選となります。
 - ・校友(卒業生)の方は申込方法が異なります。『早稲田学報』2022年4月号掲載の案内をご覧ください。
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、日程変更または中止の可能性があります。予めご了承ください。

お問い合わせ

メール : kyogen-toiawase@list.waseda.jp

文化推進部文化企画課 TEL:03-5272-4783 (月~金 9:00~17:00)

總長室校友課 TEL:03-3202-8040 (月~金 9:00~17:00)

※「早稻田文化」

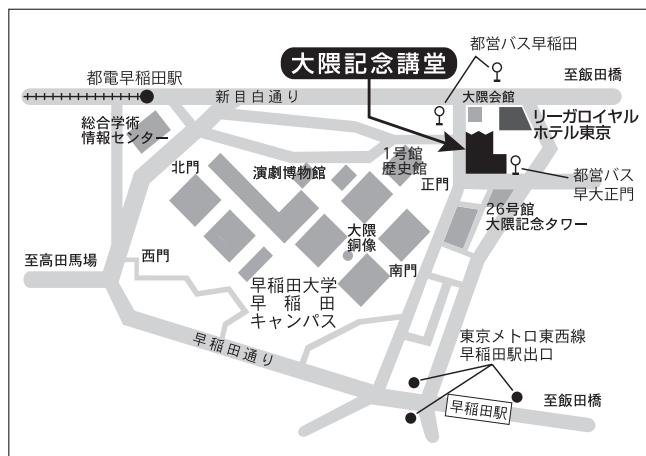
〈スタッフ〉

舞台監督／小坂部 恵次

明／株式会社齊藤舞台照明 齊藤 正
公（株式会社齊藤舞台照明）

3 (月～金 9:00-17:00)
<https://www.waseda.ac.jp>

制作協力／万作の会
制 作／早稲田大学文化推進部
文化企画課



交通アクセス

- JR山手線 / 西武新宿線（高田馬場駅 徒歩20分）
東京メトロ 東西線（早稻田駅 徒歩5分）
都営バス（高田馬場駅—早大正門 徒歩1分）
都営バス（新宿駅西口—早稻田）（渋谷駅—早大正門）（上野広小路—早稻田） 徒歩3分
都電 荒川線（早稻田駅 徒歩5分）
※専用にて駐車場はございません。